

# 福島潟の潟守

潟と人をつなぐ活動の様々



# 0. はじめに

現在福島潟には年間 10 万人もの人が訪れて、「ビュー福島潟」「潟来亭」、「雁晴舎」などで豊かな自然と交流しています。



ここでは福島潟で行われている潟と関わる様々な活動を紹介しながら、未来の潟と人のつながりを思い描いてみました。

- 0. はじめに
- 1. ちょっと昔の福島潟から今の福島潟へ
- 2. 生態系をまもる人たち
- 3. 里潟をささえる人たち
- 4. 福島潟の庭をつくる人たち
- 5. 潟の資源をいかす人たち
- 6. 潟での時間をたのしむ人たち
- 7. 潟の魅力をつたえる人たち

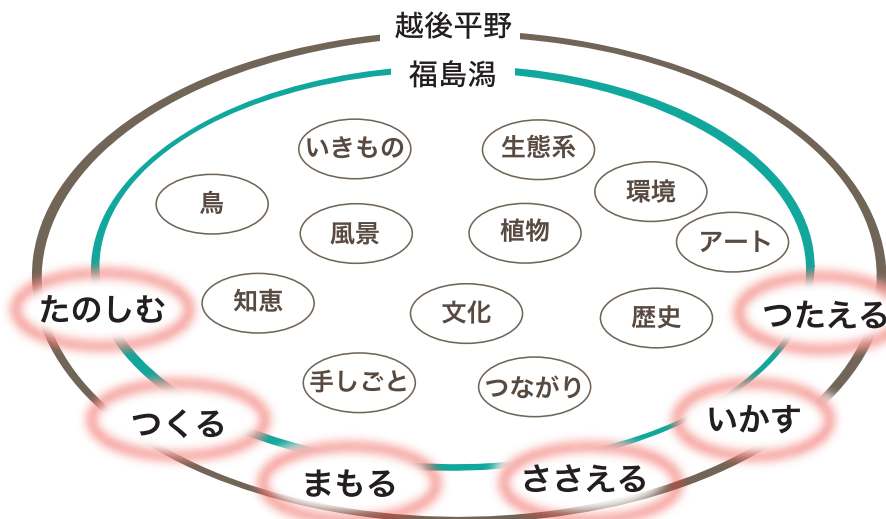
## —河童の案内人紹介—

僕「ポンタ」。福島潟にすんでいる河童だよ。「ユウタ」\*とは大の友だち。いろんなことを「ユウタ」に教えてもらって、すこしずつ福島潟にくわしくなってきたよ。

福島潟にはたくさんの人たちが訪れるけど、そのなかにはいつも来ているから顔を覚えちゃった人もいる。その人たちが一体何をしているのか、どんな人たちなのか、こっそり観察してみたんだ。



越後平野の潟は人の生活に密接に関わってきた「里潟」だよ。



いろんな人たちが、いろいろなやり方で活動している。共通するのはみんな福島潟が大好きで、潟の魅力を伝えたい、一緒に大切にしていきたいと願っていること。そんな「潟守」<sup>かたもり</sup>さんたちの様子を紹介するね。

\*ユウタは福島潟が舞台となっている斎藤惇夫「河童のユウタの冒険」の主人公